



天草フリンジへの道

The 6 Bridge Amakusa

代表 天草ショーゴ

はじめに

これから、天草の新たな歴史が始まる話をします。2022年がその1年目になります。

- ・天草が文化と芸術で世界的に有名な島になります。
- ・天草から更に沢山のアーティストが生まれます。
- ・世界から沢山のアーティストと観光客が訪れる島になります。
- ・天草に若者が戻ってきます。
- ・日本で一番、幸福度の高い島になります。

鍵となるのはエンターテイメントです。まずは私の簡単な自己紹介をさせていただきます。

天草シヨーゴ 1989 年生まれ 河浦出身 第二高校美術科卒 京都芸術大学映画学科卒

コメディマジックからシリアスな舞台まで幅広く演じるオールマイティなマジシャン。2020年、南半球最大のフェスティバル「アデレードフリンジ」に日本代表として出演。2000のプログラム、7000人のアーティストの中から☆4.5 を獲得。京都が世界に誇るエンターテイメント「ギア」にレギュラー出演中。KKT「てれびタ」の名物コーナー「マジック de 翔」のミステリー翔として4年間レギュラー出演中。県内最高視聴率を記録中。阿蘇の民宿「あそ兵衛」のエンタメリニューアルをプロデュースするなど、プロデューサーとしても活動している。サーカス団「天草サーカス」を主宰。サーカスを身近に体験できる活動を行なっている。

FRINGEとの出会い

天草の新たな歴史の話の前に、まずは「FRINGE」についてお話ししなければいけません。FRINGEとはそもそも何か。FRINGE=芸術祭です。毎年1ヶ月間、世界中からサーカス、ミュージカル、コメディアン、大道芸人などが1つの都市に集まり、芸術祭を開催します。それを目当てに数多くの観光客が訪れます。約1ヶ月半のお祭りです。



私は2020年、南半球最大のフリンジ「アデレードフリンジ」に、日本からアーティストとして参加しました。アデレードはオーストラリアの南に位置する都市です。そこへ世界から7000人のアーティストが押し寄せ、2000のショーが開催されます。観光客は330万人にも及びます。その間、アデレードの街全体が会場になります。商店街やホテル、路上など至る所でショーが行われます。そして何と言っても目玉となるのはテントや仮設小屋でみる「サーカス」などの屋内でのショーです。だだっ広い緑地公園に何百というテントや小屋が立ち並びます。観客は好きなショーのチケットを買って、様々な演目を楽しみます。

↓アデレードフリンジでも最大規模の小屋で、トップの人気を誇るショー 『Blanc de Blanc』



そんな数あるプログラムの一つに、私が出演していたショーがありました。「Maho Magic Bar」という、日本のマジックバーの文化を、海外用にショーアップした作品です。 ↓『Maho Magic Bar』の小屋も仮設で、船のコンテナ2つを並べてできている。



毎日、1時間のショーを6回、週6日こなしていた私は、1ヶ月で6kg 痩せました。そんなハードスケジュールの毎日でも、自分たちのショーが終わればどこかしら他のショーを見に行っていました。私はマジシャンという仕事柄、ある程度のエンタメは経験してきたつもりでした。しかし、このアデレードフリンジの規模と世界観には、子供のようにただ口を開けばなしで圧倒されるだけでした。毎日様々なジャンルのショーを観て、笑ったり感動したりする毎日は、一生忘れられません。

性別、年齢、国籍、宗教、貧富の差、全てが関係ない世界がそこにある

フリンジの一番の魅力と存在意義は、「多様性」という言葉さえ必要ない「自由な空間」です。昨今よく耳にする「多様性・ダイバーシティ」とは、その言葉を使った時点で“自分とその他”という無意識の壁ができてしまいます。真に多様性の受け入れられている空間には、「多様性」という言葉さえ必要ありません。それを体現しているのがフリンジです。フリンジはもともと、公式な芸術祭の審査に通過しなかったグループが、その会場の周辺(フリンジ)で“非公式”に始めたお祭りです。誰が誰を判断するでもなく、自分たちの思いを自由に表現する場がフリンジなのです。

この最高のイベントを日本に、熊本に、いや天草に持ってきたい

例えば一人ですべてつもなく美味しいものを食べた時、「あの人にもこれを食べさせてあげたい！」と私は思います。それは家族や友人など、自分にとって大切な人達です。それと同じ感覚を、フリンジを経験した時に感じたのです。家族に、友人に、お世話になっている人達に。それが派生して、最終的には私が愛する天草の方々にこのフリンジを楽しんでもらいたいと強く思うようになりました。そして、「天草フリンジ」という計画が動き出しました。このフリンジという取り組みには、

1度きりのイベントではなく、新たな天草の文化・歴史として、この島に根付いて欲しい

という想いがあります。それを実現させるために次の2つのステップを考えました。

Step1 サーカス団の結成

天草フリンジに必要な不可欠なのは“全国・世界のアーティスト”です。世界中にいる素晴らしいアーティストを呼ぶためには「説得力」が必要です。天草を文化と芸術の島にするというビジョンの実現には、それを体現する団体が重要です。そこで2021年に『天草サーカス』というサーカス団を結成しました。天草サーカスの主な活動理念は、

- ・天草という素晴らしい島を世界に発信すること
- ・天草の市民、特に子供達に生のエンタメを体験してもらうこと
- ・天草に若者を呼び戻すこと

です。このサーカス団が全国で活動し、各地のアーティストや団体と繋がり、天草フリンジに召致します。天草サーカス団メンバーには、シルク・ド・ソレイユ、中国雑技団、世界大会優勝者など、トップレベルのアーティストが在籍しています。この強力なメンバー達が、世界に散らばるアーティストたちを更に呼び集め、極上のエンタメを天草で観られる機会を実現します。



Step2 天草に常設のサーカステントを建てる・・・“運命”

天草フリンジを開催する上でもう一つ欠かせないものが「サーカステント」です。第1回目の天草フリンジではこのサーカステントがメインステージとなります。そして毎年回を重ねるごとに仮設テントの数が増えていき、ますますワクワクする空間になります。しかもこのテントは“常設”です。なぜ常設かと言いますと、このテントが「芸術の島・天草」のシンボルになるからです。そしてこのテントを、市民が自由に使える表現・交流の場として活用したいからです。テントの規模は縦横30M、高さ15Mの300人以上が入れるテントを考えています。

資金ゼロの私たちがなぜこのサーカステントプロジェクトのような無謀なプロジェクトを進めているかと言いますと、それは強力な運命に後押しされているからです。

2021年4月、天草市長に天草フリンジ計画をプレゼンする機会をいただきました。フリンジやサーカス団の企画を市長は熱心に聞いてくださいました。そして別れ際、

「そういえば、うちの会社でも昔シルク・ド・ソレイユのテントを作ったことがあってねえ」

とサラッとおっしゃいました。私は一瞬何が起こったのかわかりませんでした。気づけば全身に鳥肌が立っていました。まさか天草サーカスを結成しますとお話した相手が、世界最高峰のサーカス団のテントを作っていたなんて、、、更にその方が天草市長。もうこれ以上の言葉はいりません。市長と私が同じ時代に同じ場所に存在しているという奇跡は、**サーカステントを天草に作るため**なのです。ですよ、市長。

最後に

サーカステント＝多様性の象徴です

どんな身分の人間でも、中に入ってしまうえば皆一緒。国籍も性別も信仰も関係なく、ただ芸術を体感するだけ。そこには多様性という言葉すらありません。天草には多様性を否定され弾圧された過去があります。天草フリンジとは、隠れることで自分たちの尊厳を密かに守ってきた方々へのメッセージでもあります。

隠す必要のない想いを、誰にも批判されることのない想いを、ここ天草で解放する。

これから、天草の新しい歴史が始まります。

未来の仲間達へ

最後まで読んでいただき本当にありがとうございます。私がこの構想を立て始めたのは2020年の3月でした。2月のアデレードフリンジに衝撃を受けて帰国した私は、「早く日本でフリンジをやるぞ！」と息巻いていました。しかしそこから世界は180度変わり、世界ツアーなどの仕事は全てキャンセルになりました。しかし私はかなりポジティブなので、「今こそ差をつけるチャンス」と思い、毎日フリンジやそれにつながる企画書を作り続けました。企画書なんてそれまでは1枚も書いたことがなかった私ですが、気がつけば40本以上の企画書を作っていました。

京都在住の私には、この企画に協力してくれる天草在住の人が必要でした。

そして人が人を繋げてくださり、天草フリンジに興味を持った数名にお話を聞いていただく機会を得ました。プレゼンが終わると、皆さん目を輝かせて「ワクワクしますね！ぜひやりましょう」と言ってくださいました。

そして京都へ帰る道中、1つのライングループが立ち上がりました。

「天草フリンジへの道」

先ほど話を聞いてくださった天草の有志達が、このライングループを作ってくれたのです。

気がついたら私は車を止めて泣いていました。

コロナ禍の先が見えない中で、パソコンと向き合いながら構想を練る日々。一向に戻らない仕事。きっとバイトしてでも現金が必要だったはずなのに、それでも信じて応援してくれた妻。何度も「どうやったらこんなの実現できるんだよ」と諦めかけたこともありました。そんな孤独で不安な日々が、このライングループ名を見た瞬間にフラッシュバックをし、そしてスーっと体が軽くなりました。

同じ方向を、見てくれる仲間がいるって、こんなに心強いものなのかと知りました。そしてなんとしてでも実現し、継続していくと誓いました。

必ず天草フリンジを成功させて、市民の自慢の文化・歴史にしていきます。それが私のできる恩返しです。

そして今これを読んでくださっているあなた。フリンジの実現にはあなたの力が必要です。一緒にワクワクする未来を作りませんか。いつでもご連絡ください。改めまして、最後まで読んでいただきありがとうございました。

The 6 Bridge Amakusa 代表 天草ショーゴ

080-5264-5998

shohgo.magic@gmail.com